

# STUDENT LIFE

週刊NY生活・アメリカの学校紹介と学生ライフのページ

学校訪問の交流を終え現地校の前で記念撮影するニュージャージー日本人学校とラトガーズ中学の生徒たち



## ラトガーズ中訪問

NJ日本人学校中等部

### 意欲的にコミュニケーション

#### 英語力向上を実感

ニュージャージー日本人学校(白井治久校長)の中等部の生徒が10月26日、サマセットにあるラトガーズ・ミドル・スクールを訪問した。玄関ではパートナーの生徒たちが笑顔で出迎えてくれ、簡単な自己紹介のあと、授業に参加するためにそれぞれ教室に向かった。パートナーの生徒たちはみな親しみをもって接してくれ、すぐに打ちとけることができた。

午前2時間、午後1時間の授業参加を通して、ドラマやラテン語の授業があること、班単位での活動が多いこと、積極的に発表や質問をすること、留学生が多く校内で自然に国際交流ができることなど、日本人校との違いに気づき学ぶことができた。

また、授業中は学習内容について意見を求められたり、折り紙を紹介したりする機会に恵まれた生徒もいた。ランチタイムや自習時間には、互いに質問し合い、ラトガーズ校の生活について深く知ると同時に日本について説明することも得意欲的にコミュニケーションをとることができた。

これまでもラトガーズ校を訪問したことのある生徒たちは、前回のパートナーとの再会を喜んだり、会話を通して自身の英語力の向上を実感したりすることができたようだった。また、初めて訪問した生徒たちも、はじめこそ戸惑いはあったもののパートナーとの会話が弾み、ますます英語への興味が増していた。別際には握手をしたり抱き合ったりして別れを惜しむなど、充実した時間を過ごすことのできた有意義な活動となった。